

1 事業概要

事務事業名	人材育成事業	課名	工業課	事業No.	222
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
				飯田市版総合戦略	
	法令・例規等				
事業目的	対象	製造業等を支える人材			
	意図	地域の産業振興に向けた技術力の向上、人材の確保			

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	飯田産業技術大学については、中小企業の社会人を対象にした基礎的な技術、経営、特別講座を開催し、新たに食品関係の講座も開講しました。高度な知識の修得のため、信州大学大学院飯田コース・「特別の過程」スキルアップ1年コースを開催しました。スーパーサイエンス事業（JAXA連携事業含む）や子ども科学工作教室等、次世代を対象にした事業を開催し、地域産業の認知度の向上やものづくりを体験する取り組みを実施しました。信大航空機システム共同研究講座の学生について、奨学金及び引越しに関する経費を支援しました。		スーパーサイエンス、子ども科学教室、JAXA連携事業				1,351	
			飯田産業技術大学事業				2,700	
			信州大学院飯田コース事業				3,000	
			信大航空機システム共同研究講座コンソーシアム負担金				2,970	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	次世代育成を目的とした講座参加者数	人	289	253	264			
	信大「特別の課程」1年コース修了者数	人	2	11	4			
	飯田産業技術大学参加者数	人	913	1,007	913			
	信大航空機システム共同研究講座支援学生数	人	-	2	7			
30年度 決算 (千円)	予算額	10,023	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	10,021	(そ) 工業振興寄附金 (企業版ふるさと納税) 2,970千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 工業課雑入 11千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	2,981					
一般財源	7,040							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	16	4,323	4,321	次世代を担う産業人材育成事業費
2	1	7	1	5	10	18	2,700	2,700	飯田産業技術大学事業費
3	1	7	1	5	10	28	3,000	3,000	ものづくり高度人材育成事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識 ・人材育成については、エスバードの施設と機能を活かして体系的に専門的人材の育成を図る必要があります。また、高度人材育成事業については、信大航空機システム共同研究講座も開講しているため、それぞれの事業の関係性を踏まえながら、今後の人材育成の方向性を考えていく必要があります。労働者不足を背景に、法改正により地域内の企業が外国人材の活用をどのように進めていくのか動向を把握する必要があります。									
上記の課題解決のための有効策 ・人材育成については、多様化している企業ニーズに対応した講座の内容を検討しつつ、エスバードの利活用も踏まえ、講座の計画・実施にあたっては専属のスタッフを置き、取り組みを強化していく必要があります。地域内企業における外国人材の活用の実態と人材育成の必要性について調査し、検討を進めていきます。									
次年度に向けての取り組み ・人材育成については、食品分野についてエスバードの食品試験機器のPRを兼ねて食品分野の講座充実を図ります。また、生産性向上のため新たにAI及びIoT関係の講座を開講します。地域内企業における外国人材の活用の実態と人材育成の必要性について景況調査等にあわせて調査します。									